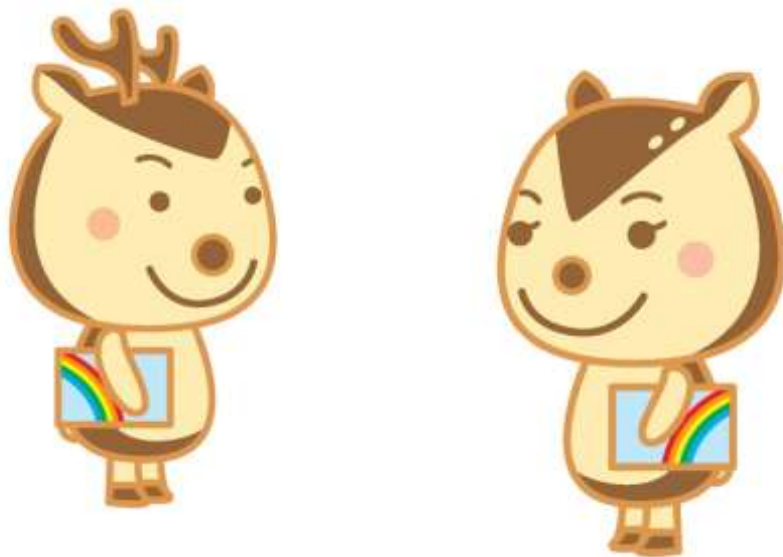


S部門

(肢体不自由教育部門)

身体づくりの教材、
自助具（身体の動きを補助する教材）
感覚あそび的な教材
教員作成教材ガイド



平成28年度

東京都立鹿本学園

目次

- 「手ぶくろ（指サック）タップ」
- 「ヨーヨーアート」
- 「ホース楽器」
- 「ぺらぺらめくるくん」
- 「きれいにたたむくん」
- 「コントローラでパソコン操作」
- 「的あてポッチャ」
- 「5秒で変形、自由自在！タオル筆」
- 「カスタネットをたたこう」
- 「いただきます」
- 「たおしてみよう」
- 「目指せ水撒きマスター！」
- 「キラキラお湯袋」
- 「スイッチを押すと光るファン」
- 「補助バンド」
- 「鈴」
- 「視線が机上を向きにくい児童への提示ボード」
- 「流してドミノ」
- 「ぽんたのじどうはんばいき」

- 「ひっぱりチェーン」
- 「手指操作性のステップアップ」
- 「書見台」
- 「持ち運びに便利、背もたれカバー」
- 「寒天を使った取り組み」
- 「ボタンがとめられる」
- 「固定紐」
- 「粘土ひも作り板」
- 「はいチーズ写真を撮ってみよう」
- 「まっすぐ君」
- 「今日からあなたもメンタリスト～トランプ立」

手ぶくろ（指サック）タップ ～自分の手指で響かせよう～

対象児童・生徒

- ・教育課程を問わず、主体的に、または介助者の援助をもって太鼓等を叩くことができる児童生徒。
- ・手ぶくろや指サックをはめることに抵抗が少ない児童生徒の方が、より使用しやす

S 高2 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・指先の力や叩く力が弱いお子さんに、少しの力でも音を鳴らすことができるようにしたい。
- ・バチを持つことが難しい場合でも、手指での演奏とは違

- ・手指の状態や苦手意識等に対応できるように、五本指手ぶくろ、ミトン、指サックの3種類作成した。
- ・手ぶくろ及びミトン型は、手指の様々な場所を打ちつけて演奏できるように、手ぶくろ全体にボタンを縫い付けた。
- ・ボタンを誤飲することないように、大き目のボタンを、しっかりと縫い付けておくことが大切。

教材の使い方 (指導方法)

◎音楽の演奏活動で使用する◎

- ①児童生徒の実態や演奏する楽器に合わせて、5本指手ぶくろ、ミトン、指サックのどれを使用するか決める。



②演奏

- ・打楽器の場合
- ・弦楽器の場合

・ラウンドベル ベルが当たる位置に手をかざしておく、ベルを回すだけで音を鳴らすことができる。

- ・身の回りの物 様々な音色を感じることができて良い。

「ヨーヨーアート」

対象児童・生徒

・手の操作性に制限のある生徒、力の強弱のコントロールの難しい生徒から問題のない生徒まで。

S 高2 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

・水彩絵の具の作品を制作する時に生徒それぞれの手の動きを生かし、音や動きを通じて制作の過程に興味を持てるようにする。

・縁日で釣れる水ヨーヨーをモデルに、透明な容器の中に絵の具に浸したテニスボールをゴムで吊るし、ゴムを付けた。
・ゴムを持って、容器ごと上下させる、手で弾いて、容器を揺らす、ゴムの先を生徒に持たせて、教員の補助で上下させるなど、多数の使い方ができる。
・紙のサイズ、質、絵の具の硬さ、種

教材の使い方 (指導方法)

・美術の授業で使用する。
・手の操作に問題のない生徒には、水ヨーヨーのように上下させて、絵を制作。
・物をつかむことが難しく、はたくことが得意な生徒には、容器を叩くことでボールを中で揺らすことによって制作する。
・ほとんど手が動かない生徒には、容器の先に付けたゴムを指にもたせて、振動を感じながら、教員が補助しつつ動かす。



ホース楽器 ～少しの力で音が出る②～

対象児童・生徒

- ・手で持つことができる生徒
- ・教員と一緒に持つことができる生徒

S 高3 重度・重複学級

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・音を聞き音を感じる。
- ・合奏で人との関わりを意識する。
- ・音で気持ちを表現する。

その他

- ・柔らかく握りやすく弾力性があるホースを使用する。
 - ・生徒がもちやすい長さにホースを切る。
 - ・ホースに鈴などの楽器を取り付ける。
- ☆自分で動かし音を出す楽器に注目した。

教材の使い方 (指導方法)

- ・生活の様々な場面で音を介したノンバーバル（非言語的な）コミュニケーションを行う中で使用する。
 - ・ホース部分を手に持ち手を振ることで楽器を演奏する。また、太鼓などに振り当てて演奏する。
- ☆ギターとのセッションでは教員の演奏するギターの音を感じて、そのリズムに合わせるように音を出した。生徒の表情に変化が見えた。しばらく音を介したコミュニケーションが続いた。

ぺらぺらめくるくん ～手先をうまく使えない児童・生徒に～

対象児童・生徒

検定教科書を使う児童・生徒を想定しています。



ねらい

手先をうまく使えず、教科書のページをめくることが苦手な児童・生徒が補助具を使うことで簡単に自分でページをめくることができるようになることをねらいとしています。

・材料は全部100円ショップで購入可能です。
・何に取り付けるかを工夫すれば、子どもの実態に合わせてもっと身近にある物にも取り付けて応用可能です。
・握りやすい物を使うのがポイントです。

教材の使い方 (指導方法)

- ・教科書のページをめくるときに最適。
- ・雑誌やパンフレットでも可能。
- ・絵本など厚い紙はめくれません。
- ・やわらかい物にすべり止めを貼るのがポイントですよ。



シリコンスプーン



きれいにたたむくん ～Tシャツを3ステップで簡単にたたもう！～

対象児童・生徒

- ・高等部1年生～3年生の自立に向けて自分でできることを増やしていきたい生徒
- ・言葉でのコミュニケーションが可能で、繰り返し行うことで活動内容を理解することができる

S B学習グループ

知的障害を併せ有する生徒の 教育課程



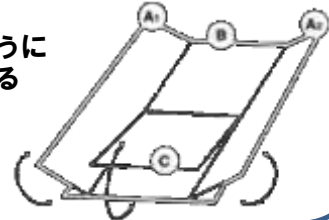
ねらい

- ・手指の操作に制限があっても、一人で「できた」経験をつむ
- ・普段の生活の中で自立に必要な技術を身に付ける

①段ボールをカットする

- A (タテ72cm×ヨコ25cm) を2枚
- B (タテ72cm×ヨコ35cm) を1枚
- C (タテ36cm×ヨコ25cm) を1枚

②右図のように張り付ける



教材の使い方 (指導方法)

①



Tシャツを裏返して置く

②



①と書いてある青い面を内側に

③



②と書いてある赤い面を内側に

④



開いて

⑤



③と書いてある黄色い面を上
(勢いよく!!)

⑥



完成～☆

コントローラでパソコン操作 ~コントローラ型のマウス~

対象児童・生徒

・アテトーゼの強い脳性まひの生徒で電動車いすの操作が可能な生徒を対象としています。

S 高2 C①学習グループ

準ずる

教育課程



ねらい

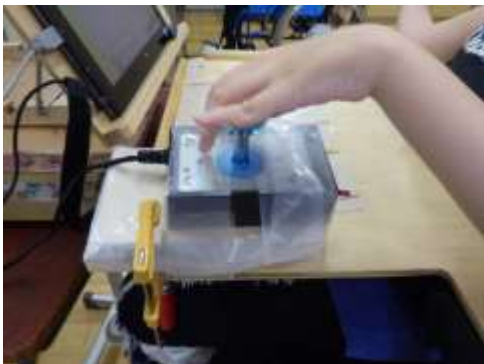
・よりスムーズなマウス操作、キー入力を可能にすることで、パソコンを使った作業において、生徒自身の取り組み意欲を引き出します。

アテトーゼが強い為、マウス・キーボードの操作がむずかしい生徒でも電動車いすのコントローラに似せたマウスを用意し、スクリーンキーボードと組み合わせることでマウス操作、キー入力共可能にします。

最初はジョイスティックの操作がむずかしい生徒も、慣れてくると比較的スムーズに入力ができるようになりました。

教材の使い方 (指導方法)

ジョイスティックはマウスカーソルの移動に使用します。



2つあるトグルスイッチの片方は、左右クリック。(上が左クリック、下が右クリック)もう片方は、ドラッグで使用します。



的あてポッチャ ～方向を合わせる練習～

対象児童・生徒

- ・ 体育の授業（ポッチャ）でねらいを定めることが課題の生徒

S 高3 BC学習グループ
準ずる 教育課程



ねらい

- ・ 安定したボールを投げられるようになる。
- ・ 方向を合わせて投げることができるようになる。
- ・ ゲーム方式で行い、楽しく活動する。

- ①段ボールを適当な大きさに切る。
 - ②プリントした紙、生徒が書いた紙を貼りつける。
 - ③洗濯ばさみを両サイドに付け、立てる。
- ・ 視覚的配慮の必要な生徒の的には、鈴などを付け音が鳴るようにするとよい。
 - ・ ねらいを明確にすることで、ゲームの中で安定したボールが投げられるようになる。

教材の使い方 (指導方法)

- ・ 「的をねらう」意識を高めるよう伝える。
- ・ 作成した的を倒れやすいように所定の位置に置く。
- ・ 的をねらってそれぞれ自分の投げ方でボールを投げる。
- ・ 倒すことができた生徒は少し距離を遠くする。
- ・ 視覚的配慮のいる生徒は、少し大きめに作成する。
- ・ 倒れると音がするように工夫してもよい。
- ・ 個人プレーが上手になったら、チーム戦で行う。

5秒で変形、自由自在！タオル筆

対象児童・生徒

全児童生徒



角度を調整したら、ポンポンと自分の力で絵画ができました。

押すことが得意な生徒は、太さを整えてごろごろ転がしました。



ねらい

自分の力で絵画ができる
最小限の介助で絵画ができる
自分で描いた達成感を得られる

太さや長さ、向きがその場で変形自由自在

どこにでもある雑巾で作成可能

児童・生徒のその日の様子に合わせて筆の向きや形を変えられる

タオル素材で持ち手部分も柔らかい

教材の使い方 (指導方法)

用意する物は、雑巾とガムテープのみ！

- ① 雑巾の太さや長さを整える。
細くしたければ、雑巾をカット。
太くしたければ、雑巾を2枚に。
長さも調整。
- ② 形が決まったら、布地を少し残してそれ以外をガムテープや養生テープでぐるぐる巻くだけ。
- ③ 実際に生徒が握って、布地の向きや太さ、長さを変えたければその都度ガムテープで補正。



まっすぐだとうまく描けなかった
ので、手の向きに合わせて90
度曲げてみました。



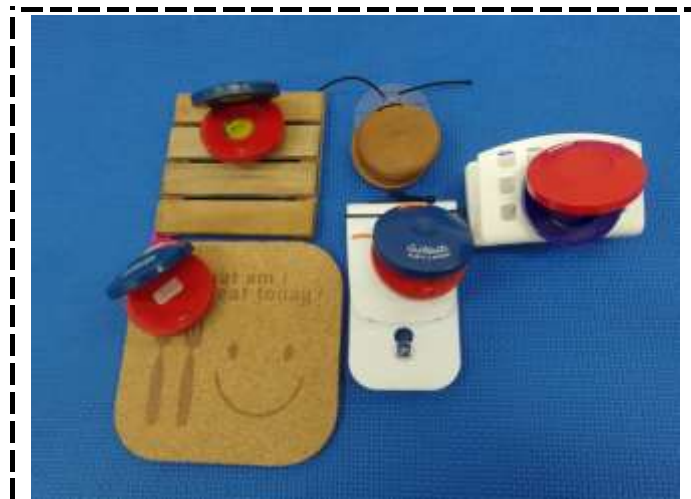
カスタネットをたたこう！ ～片手の操作で音を出す～

対象児童・生徒

両手同時の操作が難しい児童

S 1年A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

自分の手の操作で音を出す！

コルクの鍋しき・吸盤付きスポンジケースにカスタネットを付ける。

木製のコースターには、カスタネットの下にフェルトをつけました。

教材の使い方 (指導方法)

カスタネットを両手で操作するのが難しいので、片手で操作できるようにしました。

天板に吸盤で固定しました。天板の素材によっては、吸盤がつかないので、滑り止めマットを敷きました。

カスタネットの響きが消えないような、材料や構造を工夫しました。

「いただきます」

対象児童・生徒

- ・手の操作性を高めたい児童

S 小2 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



写真を載せてください。



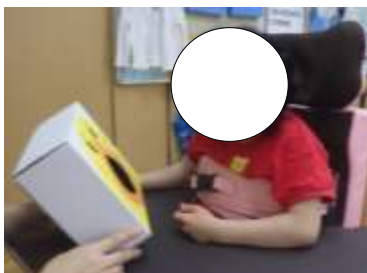
ねらい

- ・呈示されたリンゴに手を伸ばし穴に入れることができる
- ・左右繰り返し行うことができる

- ・机上的における程度の箱を用意し、絵本に出てくる挿絵を箱に張り付ける。
- ・食べ物形のフェルトをいくつか用意する。
- ・児童がつかみやすい触れやすい形の

教材の使い方 (指導方法)

- ・国語、算数の個別課題での取り組み
- ①絵本「いただきます」を読み聞かせ
- ②机の上に呈示し、教員が「いただきます」と手本を見せる
- ③リンゴを先に呈示し、箱を出して穴へ入れる。
左右数回繰り返し活動する。



たおしてみよう ～手で物を動かす力を育てる～

対象児童・生徒

音を手掛かりとして、教材に関心に向けられるようになった児童を対象にしている。昨年から続けている教材で、「だるまさんがころんだ」のリズムで自分の手の動きで倒すことができるようになってきている。

S 小2 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・音に気付いて視線を向ける。
- ・「だるまさんがころんだ」の言葉かけに合わせて、一人で倒すことができる。

作り方は

- ・2個のペットボトルを切って組み合わせる。
- ・中に、ビーズや音のする物を入れる。
- ・ビニールテープで固定する。

工夫した点

- ・赤いビーズの教材をよく見ているので、貝殻や鈴、おはじきなど入れ、重さや色あいを工夫した。

教材の使い方 (指導方法)

- ①教材を振って見せる。
- ②教材を児童が手をのせられる位置におく。
- ③「だるまさんがころんだ・ころん」やろうと伝える。
- ④児童の手をのせる。
- ⑤表情や緊張の様子をみながら「だるまさんが・・・」と言葉をかける
- ⑥手の動きを見ながら、言葉かけのペースを考える。
- ⑦動きがないような時は、少し傾ける。
- ⑧上手に倒せた時は、顔を見て、倒した手に触れてほめる。
- ⑨今度は、もう一つのも倒してみようと伝える。
- ⑩表情を見ながら、①～⑧の流れで教材を変えて行う。



目指せ水撒きマスター！ ～ウォーミングアップ用ままと当て～

対象児童・生徒

花壇や畑での水撒きで、ホースやじょうろを持つことが難しい児童



ねらい

・簡単な因果関係がわかって、水撒きをすることができる。

～必要な物～

- ・園芸用の空気圧式スプレー（両手でも押せるようプレート付）
- ・いも苗パネル
- ・園芸用の支柱
- ・洗濯ばさみ
- ・トイレットペーパー
- ・必要に応じてブルーシート

教材の使い方 (指導方法)

☆ままと当てゲーム☆

- ・必要な物を、下の次のようにセッティングする。
- ・因果関係がわかりやすいよう、実態に応じて、ままとの距離を調節する。



※写真の時は、本物の葉っぱをままとに使用した。
※セロテープでパネルをトイレットペーパーにつける。
※トイレットペーパーを洗濯ばさみに吊るす。

ゲーム開始！

始めはプレートに注目でした。プレートが床に落下する音を聞くなどして、視線が前に向きました！



畑にデビュー！ いも苗をしっかりとらえています！



キラキラお湯袋

～あったかいな、つめたいな～

対象児童・生徒

・視覚的に見ることが難しい児童・生徒

・環境把握が難しい児童・生徒

S 小3 訪問学級

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

・お湯の感覚を受け止めたり、温かい・冷たいを感じる。
・皮膚感覚を通して重い・軽いを感じる。
・明暗や光の揺らめきを感じとる。

・軽くてかさばらない。
・一つの教材で子どもに合わせて、いろいろなねらいで使える。
・お湯の中に入れる物を工夫して変化が楽しめる。
・光が柔らかく動くので、暗い中で見せると視覚の弱い子どもでも目を向けていた。
・緊張が強くて手浴が出来ない子どもにとっても有効。お湯に手をいれたまま、肩関節を緩めるなど広がっ

教材の使い方 (指導方法)

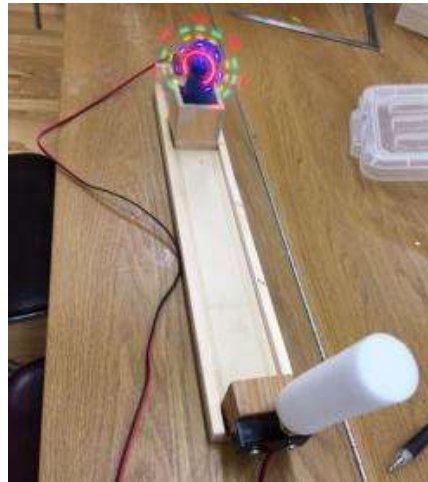
1. 手浴の容器として
皮膚にふれる、お湯の感覚を受け止めたり、温かい・冷たいを感じる。
・洗面器では手浴ができない子どもでもビニール袋なら無理なく手浴ができる。
2. 視覚教材として
明暗や光の揺らめきを感じとる。
・明かりを消して下からのぞくとキューブライトがひかり、水の反射と相まって幻想的な雰囲気となる。中に入れる物を変えると違う雰囲気になる。(音楽を工夫するとなお一層よい。)
3. 触覚・感覚教材として
皮膚感覚を通して重い・軽いや温かい・冷たいを感じる。・ボディーイメージを育てる。
・ビニール袋を閉じて温かい物と冷たい物の二つ用意する。温度の違いを感じたり、身体に乗せて、重さや温かさ、身体のどこに触れているか(ボディーイメージ)感じることが出来る。大きいビニール袋を使えば、ウォーターベッドのようにも使える。

※1～3を組み合わせていろいろに活用できる。

スイッチを押すと光るファン ～因果関係の理解と目と手の協応を育てる～

対象児童・生徒

- ・単純な因果関係の理解が難しい児童
 - ・目と手の協応が難しい児童。
 - ・視覚に制限のある児童
- ※S部門小学部3年・自立活動を主とする課程



ねらい

- ・自分の行動による因果関係を理解する。
- ・目と手を協応させてスイッチを押す。
- ・「スイッチを押すー少し離れた装置が作動する」の関係がわかる。

- ・スイッチと光ファンの距離を変えられるようにした。(約5cm～35cm)
- ・スイッチを押すとファンが回るという簡単な因果関係がわかるようになった。
- ・視覚に制限がある児童も「スイッチを押しながら光ファンに目を向ける」という目と手の協応させる姿が見られるようになった。

教材の使い方 (指導方法)



国語・算数「きよだいなきよだいな」の読み聞かせで扇風機が出てくる場面があり、児童も扇風機を回す活動で使用。

(授業で使用したのは簡易版)



スイッチとオモチャの距離を変えることが可能(スイッチとオモチャの距離が離れてもオモチャに目を向けられるかどうか分かる)



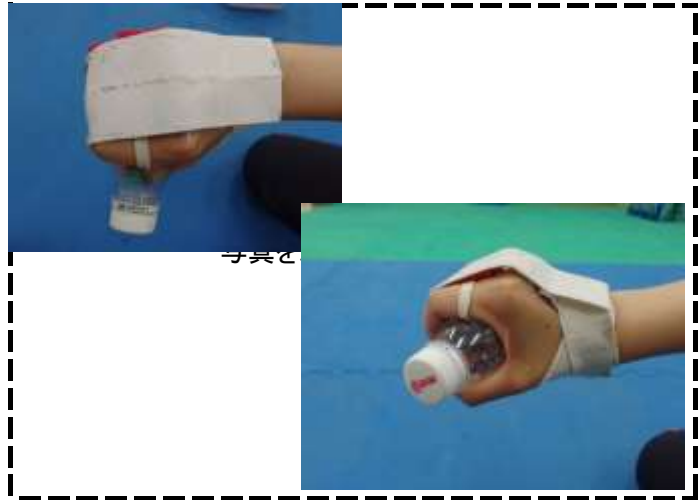
補助バンド ～自分で動かそう～

対象児童・生徒

自分の力で教材等を持ち続けることが難しい児童

S 小3 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

自分で持ち続けることが難しいけれど、自分でやってみたい、できたと感じながら活動できるように考えました。

・サポートする強さは、使う児童によって調整します。マラカスや筆を一人で持って、鳴らしたり描いたりすることができるようになってきました。

教材の使い方 (指導方法)

・教材を持つ。→ きつくなり過ぎないようにバンドを調整して付ける。→ 「自分で鳴らそう、書いてみよう！」（つける前はこのような形です）



鈴 ～小さな動きで音を鳴らそう～

対象児童・生徒

- ・手の動きが小さく
力が弱い児童

S 小3 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・目と手の協応
- ・小さな動きでもしっかり音が鳴ること
で、「できた」という気持ちを感じる。

・箱に切れ目を入れ、ゴムに鈴を通す。

・毎日の活動に取り入れ、児童も期待してたくさん音を鳴らせるようになった。

教材の使い方 (指導方法)

- ・はじめに教材を見せ、手を動かしやすい位置に呈示する。
- ・朝の歌に合わせて自分の動きで鈴を鳴らせるように促す。

視線が机上を向きにくい児童への提示ボード（提示皿版）

対象児童・生徒

見る意欲は高いが、筋緊張の強さのため視線が下方へ向きにくく、机上に提示された物を見ることの難しい児童を対象としています。

S 小4 自立活動を主とする教育課程



ねらい

- ・提示された物へ視線を向ける
- ・二つのうちどちらかを、視線で選ぶことができる

作り方

- ・ボードに黒い画用紙を張り付ける。
- ・ボードと入れ物（提示する物）に、マジックテープを張り付ける。

工夫した点

- ・ボードが黒、提示皿が白で、提示皿の中身に視線を向けやすくした。
- ・斜めの状態で提示皿を提示するので、机上面より視線を向けやすいようにした。

教材の使い方 （指導方法）

使い方（提示皿版）

- ・ボードを提示する。
- ・入れ物を見せ、ボードに固定する。
- ・中に入れるもの（おもちゃ等）を見せ、入れ物へ入れる。
- ・ふたをし、おもちゃがどこにあるか問いかける。
- ・入れ物を見たらふたを開け、一緒に中身を取り出す。

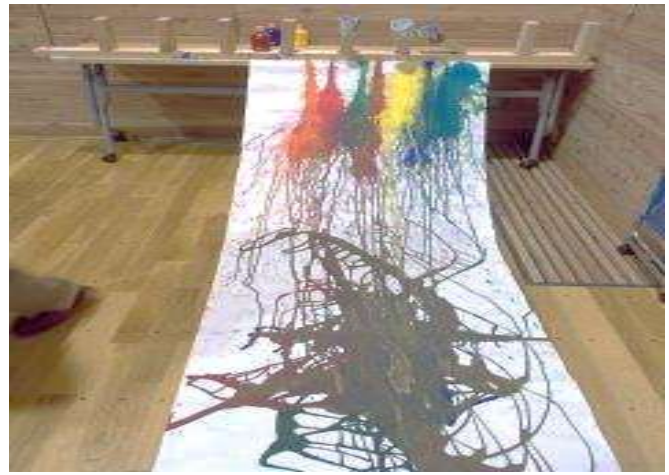
流してドミノ ～ドミノで流し絵を描こう～

対象児童・生徒

- ・筋緊張等で身体の動きに制限のある児童が支援なく、自らの力で絵具を流して、描くことのできるマシーンです。
- ・ドミノが倒れるのに連動して、カップの中の絵の具が流れる仕組みなので、どんな児童にも活動が分かりやすく、見ている方も楽しめる教材です。

S 小4 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・自分の力でドミノを倒し、絵具を流して色を付けることができる。
- ・ドミノが倒れる音や絵具が流れる様子に気づき、楽しむことができる。

- ・材料は木材、針金、プリンカップ、蝶番。全てホームセンターで購入。
- ・ドミノは、同じ長さに切った木材を土台に均等に並べ、片一方を蝶番で止め、一方向へ倒れるようにする。
- ・カップを固定する台は、ドミノと同じ感覚に木片を付け、上部に針金を通す溝を作っておき、針金をはさめるようにする。
- ・針金は取り付けるカップやボトルによって大きさを変えられる。

教材の使い方 (指導方法)



- ① ドミノの下に模造紙を広げ、絵具が流れるようにセットする。
- ② ドミノを立てて、針金をセットする。
- ③ 絵具を入れたカップをセットする。



ドミノを倒すとカップが傾き、
絵具が流れる仕組み！！

ほんたのじどうはんばいき

対象児童・生徒

- ・教材を注視する、教材に向かって手を伸ばす力をつけたい児童
- ・手の操作性を高めたい児童

S 小5 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程

①ボール式



②ボタン式



ねらい

- ・教材に注目する。
- ・ボールを押す、コインをいれる、ボタンをおす等の操作ができる。

- ・A4大きさの段ボール箱を使い、自動販売機に見立てました。
- ・背景は白にして、赤いボールや赤いボタンを児童が目目できるようにしました。
- ・児童が操作したタイミングに合わせて玩具を出すことができるよう、内部には傾斜をつけています。
- ・児童の実態に合わせてパネルを2つ用意しました。マジックテープを使うことで、パネルは取り外し可能となっています。

教材の使い方 (指導方法)

- ・国語・算数の授業で、個別課題の時間に取り組む。

①大型絵本「ほんたのじどうはんばいき」の読み聞かせ

②自動販売機の場面遊び（玩具は児童それぞれの好きなものを用意）

はじめに手本を見せて、見通しがもてるようにする。

「やりたい」と気持ちを表出した児童から順番に自動販売機の課題に取り組む。

（適宜、児童の実態に合わせてパネルを変えたり、呈示の距離等を工夫したりする。）



赤いボールを
いれると・・・



やったー！
おもちゃゲッ

ひっぱりチェーン ～目と手の協応。見続けて操作する！～

対象児童・生徒

興味を持った物を見ることができ、手を伸ばすことはできるお子さんです。操作が伴うと、見続けることが難しく、操作もやめてしまいます。そこで、見て手を伸ばした後、簡単な操作で、見た目や感触に変化があり「あれ？」と感じられるものを考えまし

S 小6 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・見て、教材に手を伸ばしたあと、チェーンを引っ張りながら、見続ける。
- ・手ごたえや感触を感じながら、しばらく活動続ける

- ・お風呂のボールチェーンを準備します。あまり引っ張らなくても抜ける長さからスタート。
- ・持ち手はわかりやすく、大きく握りやすく、はっきりした色。
- ・タッパーに穴をあけます。ボールチェーンの大きさに合わせて、手ごたえを確かめ長あ穴の大きさを変えます。
- ・試行錯誤しないと抜けないというようなふたも、用意しておけば、いろいろな児童に合わせて活動することも

教材の使い方 (指導方法)

- ・個別の学習で取り組む。
 - ・姿勢を整える。手の操作を集中して行うには、安定した姿勢がとても大切！
- ①教材を見せる。机に置いて教材を安定させます。
 - ②見本を見せる 「引っ張ると取れるよ～」を伝える。
 - ③一緒に引っ張ってみる 引っ張るとごつごつした感触を感じられること、抜ける感触を体験する。
 - ④できたことを一緒に喜ぶ！！
 - ⑤もう一度、教材をみせ、手が伸びてくるのを待つ
 - ⑥伸びてきたら、持たせて、引っ張ってもらう。(こちらも少し引いてアシストすることも)
 - ⑦見続けられていること、引っ張っていることをほめる！！
 - ⑧引っ張りきって抜けたことを一緒に喜び合う！！
 - ⑨「もう一回やる？」 など聞きながら何度か繰り返す。

手指操作性のステップアップ

～握む・摘まむ・スライド・離す・押す～

対象児童・生徒

手指操作性の向上をさせたい
児童・生徒
握って離して落とす。
触れてスライドで落とす。

S 小6 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

自分で触って見たり聞いたりして変化を感じ、
操作できたと感じる。手指の操作性の向上。

- ・木製の手作り！
- ・入れたり、押したり、スライドさせたりして落とす。
- ・見える、音が出る。

教材の使い方 (指導方法)

- | | |
|---------------------|------------------|
| ステップ① 教材1：くるくる | ボール入れ ～ 延滞の学習も可～ |
| ステップ② 教材2：横長箱 | ドーナツリング入れ（上から） |
| ステップ③ 教材3：縦長箱複数穴付き | コイン入れ（上から） |
| ステップ④ 教材4：縦長箱穴回転鈴付き | コイン入れ（横から斜めに） |
| ステップ⑤ 教材4 | コイン入れ（横から横に） |
| ステップ⑥ 教材4 | コイン入れ（横から縦に） |
| ステップ⑦ 教材3 | コイン入れ（横から横にカウント） |

書見台

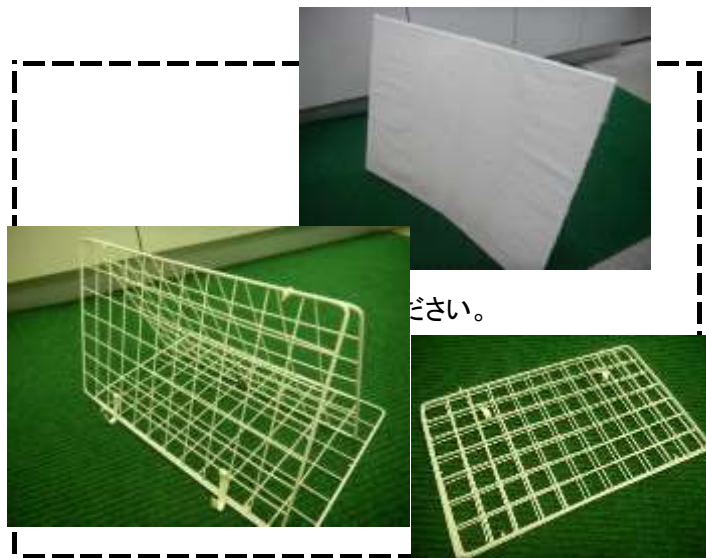
～ 持ち運び便利な訪問グッズ ～

対象児童・生徒

- ・誰でも対象

S 小6 訪問学級

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・見る活動の充実
- ・訪問授業の荷物の簡略化

・材料

- ①キッチングッズの網（3枚）
- ②フック（2個～）
- ③クリップ（1個～）
- ④結束バンド（4個）

・作り方

- ①網を結束バンドで固定する。
- ②フックを適当な場所に付ける。
- ③使用するときには網をクリップで適当な位置に固定し三角形にする。

教材の使い方 (指導方法)

①側臥位の姿勢になったとき

- ・ホワイトボードに提示されたものを見る。
(主に日常生活の指導で)
- ・パネルシアターや紙芝居、絵本を見る。
(国語・算数 生活単元学習等の各教科で)

*児童の首の角度や視線の位置に合わせて、書見台の角度を変えたり、フックの位置を調整したりして、一番見やすい位置に見る対象物を置くようにする。

②車いすに座ったとき

- ・正面からの提示にも使用することもある。

持ち運びに便利、背もたれカバー

対象児童・生徒

独歩で移動しているお子さんです。学習椅子に座るときに、姿勢の補助のため、背もたれと背中の中にブロックを置いています。（外部専門家のアドバイス）
学習室から学級、給食の部屋など移動のたびに自分で持ち運んでいます。

S 小4 B学習グループ

知的障害を併せ有する児童の教育課程



ねらい

片手で持ち運びができる。
中のブロックの取り出しが簡単。
洗濯できる。

- ・持ち手をブロックの長い面につけたことで、床に引きずらないで持ち運ぶことができます。
- ・取り出しが楽になるように、少し大きめ、口をひもで絞る形にしました。

教材の使い方 (指導方法)

座面には、縦向きに置きます。



中身は、100円ショップの発泡スチロールブロックです。



寒天を使った取り組み ～触ってみよう、感じよう～

対象児童・生徒

- ・視覚的に見ることが難しい児童生徒。
- ・環境把握が難しい児童生徒。

S 中1 1A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・触覚、嗅覚を中心にした取り組みの中で、寒天の感触を感じる。
- ・皮膚感覚を通して「冷たい」を感じる。

- ・香り付けをし、嗅覚の刺激にもなるようにした。
- ・寒天の硬さ（濃度）を変えることにより、触れた時の感覚の違いを作った。
- ・カラフルな色合いにすることにより、注目しやすくした。
- ・初夏に取り組んだ。触れた時の冷たさなどによるものと思われる心拍の変動が見られた。

教材の使い方 (指導方法)

- ・枠に入ったままの寒天に触れ冷たさを感じる。
- ・寒天に指先で触れた感触を感じる。
- ・寒天に指先を入れ冷たさや感触を感じる。
- ・寒天を枠から出し、手の平で握ることにより感触を感じる。
- ・握ることで寒天が崩れる感触を感じる。
- ・崩れた寒天を手の平や手の甲で十分触れる。
- ・寒天に十分触れた後は、温かいお湯で手を洗うことにより、寒天との温度差を感じる。



ボタンがとめられるようになっちゃう?!

対象児童・生徒

- ・自分で洋服を着脱するのが難しい生徒。
- ・手先の機能を高め、微細な動きを促したい生徒。

S 中2 2A①学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・ボタンホールにボタンを入れてとめることができる。

- ・ボタンの色を原色にした。
- ・ボタンの大きさを3種類にして、無理なくステップアップできるようにした。
- ・布の大きさをボタン大きさと合わせて、分かりやすくした。

教材の使い方 (指導方法)



ボタンとボタンホールを同じ色にして分かりやすくした。

- ・自立活動の授業で使用します。

<ステップ1>

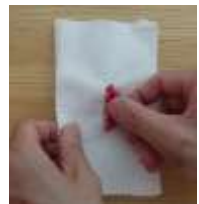
一番大きい赤いボタンホールにボタンを入れます。
できるようになったら・・・

<ステップ2>

二番目に大きい青いボタンホールにボタンを入れます。
できるようになったら・・・

<ステップ3>

小さい緑のボタンホールにボタンを入れます。
できるようになったら・・・
ワイシャツやブラウスのボタンがとめられるようになります。



これで安心！固定紐 ～机を固定して倒れない～

対象児童・生徒

立位台に乗った状態で、iPadをスタンドに設置し、操作する生徒や、机を押し倒してしまう生徒。

S 中2 2A②学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・ iPadのスタンドが倒れないようにする。
- ・ 机を倒れないようにする

フックを付けた側を立位台に取り付け、反対側を机にくくりつける。スタンドを固定し、力強くiPadを押ししたり引っ張ったりしても倒れないようにした。

教材の使い方 (指導方法)

自立活動や教科の授業等、机を使用する場合には取り付ける。立位台に取り付けたり、車いすや児童椅子に取り付け、倒れないようにしている。

「簡単！粘土ひも作り板」

～きれいなひも状に簡単に加工できる～

対象児童・生徒

- ・粘土の加工時に、巧緻性を要する作業が困難な生徒が対象です。
- ・両手の力を調整しながら加工することは難しいが、前後に動かすような単純な動きならできるような生徒に適した教材です。

S 中2 2A②学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・生徒自身の力で粘土をひも状に加工することができる。
- ・均一な大きさのひも状粘土を短時間にたくさん作成することができる。
- ・ひも状に加工したものを使うことで、造形の幅が広がる。

- ・力を入れやすいように持ち手が大きい。
- ・粘土が見やすいように、土台を青く塗っている。

教材の使い方 (指導方法)

- ①粘土を土台に置く。
(量が多いと加工に力が必要。ゴルフボール大で試すと良い。)
- ②土台に上板を重ねて持ち手を掴み、上下に動かす。
- ③ひも状の粘土に簡単に加工ができる。
(作業に慣れたら複数個の加工も短時間にできる。)

「はい！チーズ」 ～写真を撮ってみよう～

対象児童・生徒

- ・一般的なデジタルカメラでは、撮影が難しい児童・生徒への支援です。
- ・ひもを引っ張ることで、カメラのシャッターを押します。※

S 中3 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



ねらい

- ・植物の成長などの写真記録を児童・生徒に撮らせた。
- ・他のスイッチ教材へ広げていきたい。

その他

- ・引っ張るスイッチには、滑り止めを付けており、どのような位置にでも持つていくことが可能です。
- ・軽い力で引っ張っても、強い力で引っ張っても大丈夫のように、ひもは伸縮性のあるものを使っています。
- ・他の外部スイッチに対応できるようになっているため、児童・生徒に応じてスイッチを変えることができます。

教材の使い方 (指導方法)

- ・個別の学習で取り組む。
 - ・集団の学習の中で、活用する。
- ① タブレット端末、携帯端末 (iOS) を準備します。
 - ② イヤホンジャックにスイッチをつなげます。
 - ③ カメラのアプリを起動します。

※タブレット端末等をアームなどで固定することもできます。



まっすぐ君 ～ポッチャでまっすぐ投げるために～

対象児童・生徒

部活動や体育などでポッチャに取り組んでいる生徒が対象である。自分の腕の動きを見て修正できる力が必要である。

S 中2 C学習グループ
準ずる 教育課程



ねらい

ポッチャで投球が安定しない生徒が自分で素振りをするにより、手の動きが安定しないことや投げる方向が曲がっていることに気が付き、まっすぐに腕を振る力をつけることを目的としている。

古くなったポッチャのボールに竹の棒を指して固定した。先端がわかりやすいように養生テープで目印をつけた。

教材の使い方 (指導方法)



壁や床の目標を目指して腕を振ることで正確にボールを投げることを目指しています。部活動の時間は限られているので、家庭での練習を目的として開発しました。

生徒本人が、家庭で繰り返し練習を行うことで部活動の練習試合で徐々に正確に投げたい方向にボールを投げられるようになってきています。

今日からあなたもメンタリスト ～トランプ真剣勝負の巻き～

対象児童・生徒

- トランプが好きな生徒
- 方麻痺のある生徒
- 不器用な生徒

S 中3 学習グループ

知的障害を併せ有する生徒の教育課程



ねらい

一人（介助なしで）でトランプの真剣勝負をする

技術室にあった廃材（板段ボール）を利用しました。
試作品では、幅が足りず、トランプの重みに耐えられずひっくり返ってしまいました。
色画用紙やマスキングテープで装飾しました。

教材の使い方 (指導方法)

♡◇♠♣♡◆♠♣♡◇♠♣♡◆♠♣♡◇♠♣♡◆♠♣♡◇♠♣♡◆♠♣

- ①トランプを配ります。
- ②配られたトランプを「今日からあなたもメンタリスト」に並べます。
- ③同じ数字のカードを出していきます。
- ④以下、ババ抜き的要領で・・・



トランプを片手で持てず、机の上にトランプを広げてしまっていた生徒の困ったを解決！！ジョーカーが丸見えになっていた生徒も、これで大丈夫！！あとは、ジョーカーを引いても焦らない強い心とポーカーフェイスで、ババ抜き上級者を目指しましょう！！

♡◇♠♣♡◆♠♣♡◇♠♣♡◆♠♣♡◇♠♣♡◆♠♣♡◇♠♣♡◆♠♣